平成 27 年度　シーズ発掘調査事業　産金学官連携による大学発シーズ事業化コンソーシアム

【大学シーズ情報】　※図や表などを入れてわかりやすく記載してください。

大 学 名　　東 洋 大 学

研究タイトル	歩行をアシストする，パーソナルモビリティビークル（PMV）
研究者の所属学部、学科、役職、氏名	ライフデザイン学部　人間環境デザイン学科　教授　高橋 良至
技術のポイント	路面を蹴って進む，近距離の移動をアシストする新しい移動ツール
現在の研究開発段階	A 基礎研究段階　・　(B)試作段階　・　C 実用化段階
技術の紹介	 短時間･短距離であれば歩行可能な人が，より長い時間や距離を自ら体を動かして移動し，社会と関わり合いを持つことができれば，健康の維持や生きがいを持ったハリのある暮らしに繋がると考えられる． そこで，近距離移動の支援を目的とし，可能な限り要介護状態とならないようにする“予防介護”に貢献する，パーソナリティモビリティビークル（PMV）を提案する． 本研究で開発したPMVは，路面の蹴り出しにより前進するとき，車輪の回転をセンサで検出し，速度が緩やかに低下するようモータで滑走をアシストすることで，単に蹴りだすよりも長い距離を滑走することができる移動ツールである． 簡単な操作で折りたたむことができ，バスや電車等の公共交通機関に持ち込み移動することで，移動範囲を拡大することも可能であると考える．
研究の背景	
従来技術より優れている点	簡単な操作で折りたたみ可能、バスや電車等の公共交通機関に持ち込みが可能で、移動は範囲を拡大することが出来る。

技術の用途イメージ	予防介護機器、健康機器などへの応用
中小企業への期待	
知財情報（ある場合のみ記載ください）	【特許番号】特願 2013-171730 【発明の名称】蹴りだし検出による歩行補助車両 【特許権者】学校法人東洋大学 【発明者】高橋　良至